

調査・研究報告書

当会では、財団法人 J K A の補助を受け、平成 23 年度に「次世代成長産業の競争力確保に必要な工作機械に関する調査研究」を実施致しました。本調査研究の概要について以下報告をご参照ください。



この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものです。

<http://ringring-keirin.jp>

「次世代成長産業の競争力確保に必要な工作機械に関する調査研究」

次世代自動車、航空機、エネルギー及び医療機器産業は、次世代のわが国製造業の国際競争力を牽引する成長産業として期待されているが、これら産業において、我が国が引き続き世界をリードしていくためには、その製造技術の高度化が必要不可欠である。特に、生産設備の中核である工作機械に対しては、技術革新の速いこれら成長産業にて多様化するニーズを的確に捉え、そのニーズを満足する設備・生産技術をいち早く提供していくことが求められる。

上記の現状に鑑み、本調査研究では、技術マトリックス（象限Ⅰ：次世代製品対象、象限Ⅱ：製品実現に対する開発課題マトリックス、象限Ⅲ：開発課題を実現するための生産技術マトリックス、象限Ⅳ：生産技術を実現するための要素技術マトリックス）を用いて、各産業における次世代製品の将来動向および今後の工作機械の開発要素を分析し、これらの成果を、平成 23 年度「工次世代成長産業の競争力確保に必要な工作機械に関する調査研究報告書」にまとめた。

- ・平成 23 年度「工次世代成長産業の競争力確保に必要な工作機械に関する調査研究報告書」（PDF）